

訪問診療のアイデア

- ・ 認知症のBPSD治療目的で、一般科病院からの転院を受けたケースの多くが、ちょっとした精神科的薬物療法で精神症状が改善していたこと

→他院への訪問診療ができれば、転院させる必要がなかったのではないか

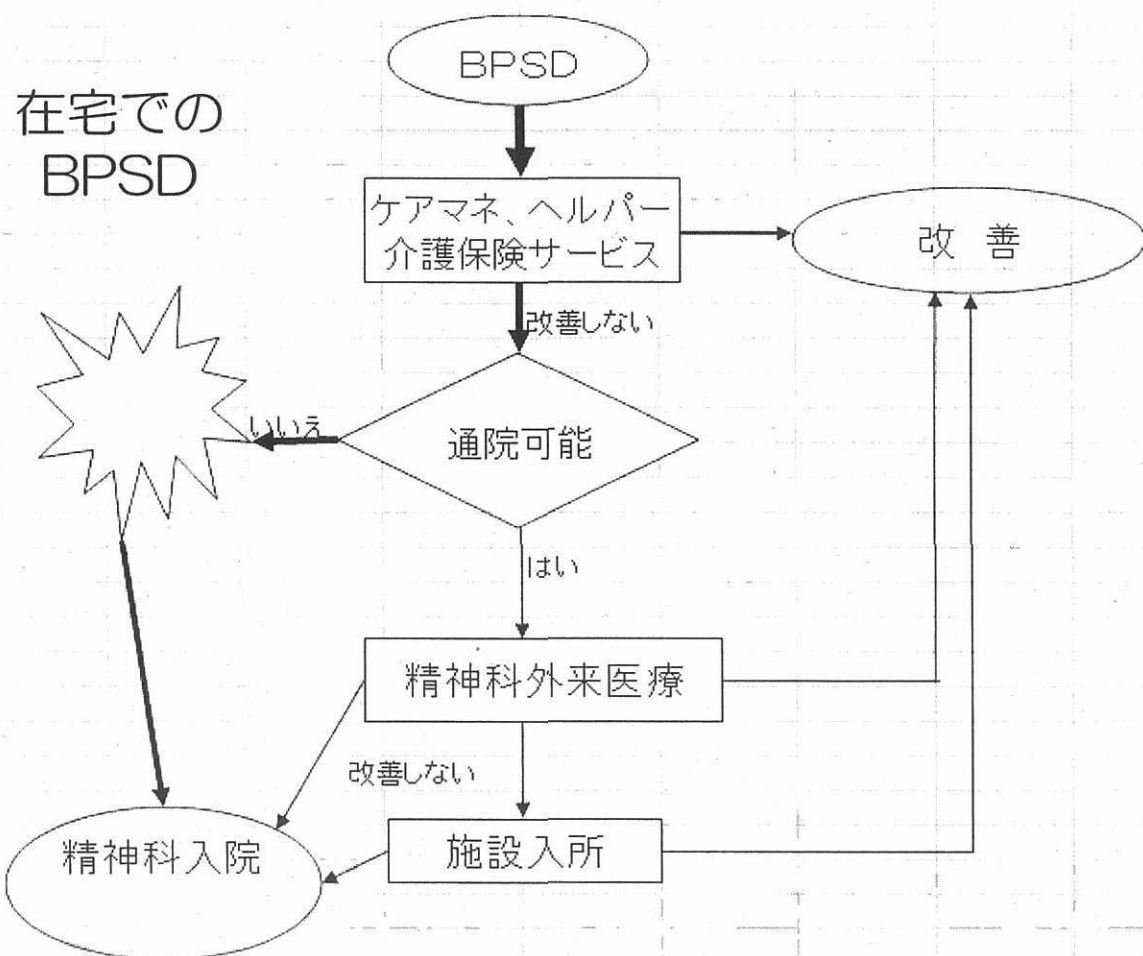
訪問診療のアイデア

- ・ 高齢者、特に認知症がある方の中には、医者嫌い・病院嫌いの方が意外と多く、特に精神科への外来受診は困難

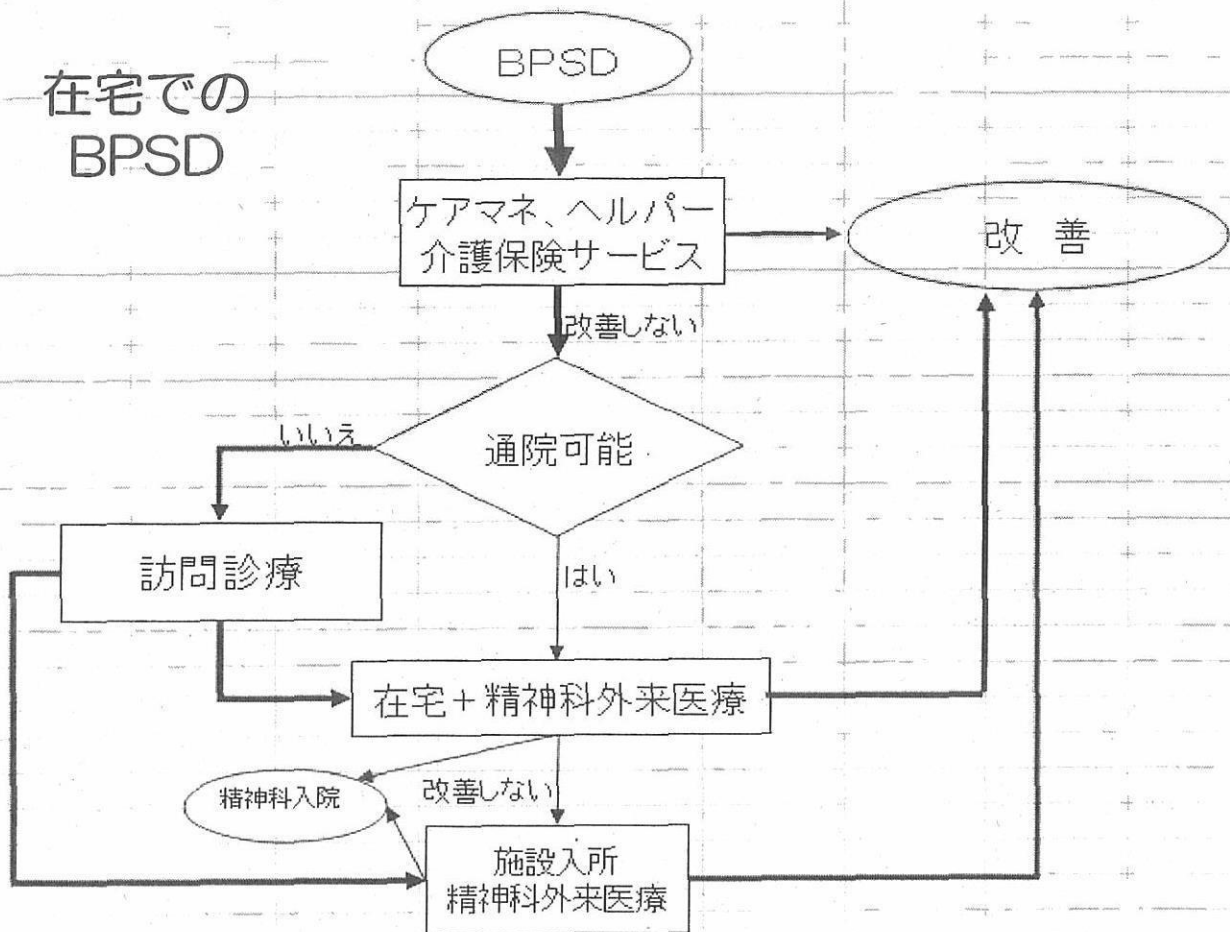
→精神科に受診できない患者さんの自宅への訪問診療ができれば、在宅生活が続けられるのではないか

私の希望

- ・ 精神科医のいない一般科病院、施設に精神科医療を外付けして、認知症のBPSDに対応したい
- ・ 精神科外来を受診することが困難なBPSDのある認知症高齢者に往診して、精神科医療を提供することで、その人の本来の生活の場での人生を支えたい



在宅での
BPSD



海上寮訪問診療

平成21年11月から開始

- 個人宅への訪問診療
- 施設への訪問診療

急性期病院 1カ所 リハビリ病院 1カ所

特別養護老人ホーム 3カ所

養護老人ホーム 1カ所

認知症対応グループホーム 5カ所

海上寮療養所 物忘れ外来の現状

平成21年4月－平成22年8月

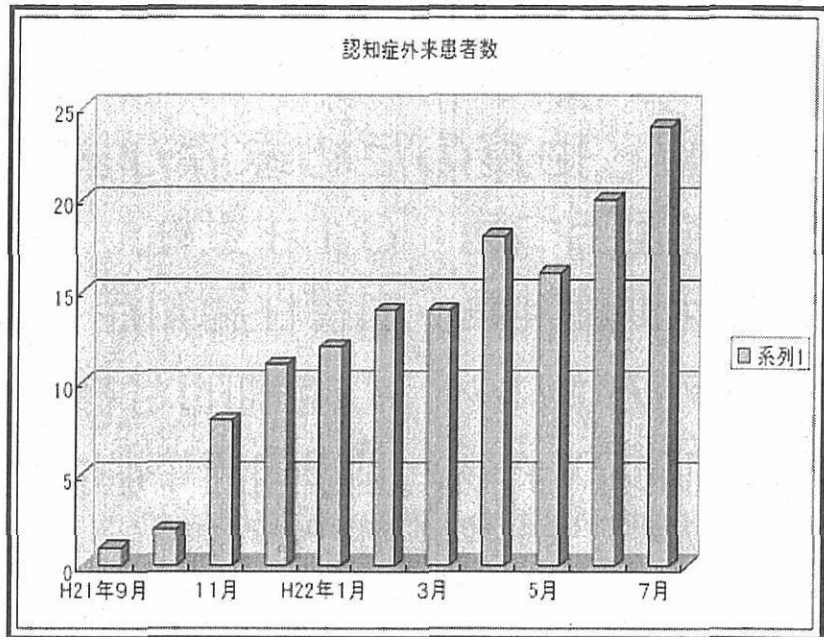
- ・ 累積患者数 160名
 平均年齢 78歳 男女比約1：2
- ・ 訪問診療したケース 97名
 うち施設関係 61名

現在の訪問診療体制

- ・ 医師 1名
- ・ 看護師 1名 PSW 1名 事務 1名
- ・ 新患数が徐々に増加し、現在は月に30名前後

物忘れ外来 新規数

月	患者数
H21 9月	1人
10月	2人
11月	8人
12月	11人
H22 1月	12人
2月	14人
3月	14人
4月	18人
5月	16人
6月	20人
7月	24人



訪問診療でBPSDやせん妄状態を改善するための必要条件

- 何らかの形で薬物療法が可能であること
 - 家族、介護者が薬物を投与することができること